

平成 21 年度 4 年生研修旅行（海外）報告

1. はじめに

タイ王国のキングモンクット工科大学ラカバン校(以下, KMITL)との交流およびタイ文化・習慣を学ぶ目的で, KMITL 訪問, 現地日系企業および史跡見学を行った。以下, 研修内容を報告する。(付録として, アンケートの自由記述回答からの抜粋あり。)

2. 参加者 [30 名 (学生 : 28 名, 教員 : 2 名)]

情報通信工学科	7 名 (内、女子 1 名)
電子工学科	6 名
情報工学科	15 名 (内、女子 1 名)
引率教員	矢澤睦 (総合科学系)
	芳賀仁 (知能エレクトロニクス工学科)

3. 日程

研修旅行は 4 泊 5 日(機内泊含む)の日程で行った。以下, 日程概要を示す。

11 月 10 日(火)

移動 (仙台空港発, ソウル経由でバンコクまで)

11 日(水)

アユタヤ観光および企業見学(Nikon Thailand)

12 日(木)

KMITL 訪問およびバンコク観光

13 日(金)

グループ研修

14 日(土)

移動 (バンコク発, ソウル経由で仙台空港まで)

4. 研修報告

11 月 10 日(火)

11:00 仙台空港集合

- ・ 2 階出発口前に集合。ほぼ軽装だが, スーツ・ネクタイ姿で集合した学生もいた。
- ・ JTB 担当者が全員に搭乗券, 保険証書, 手荷物に付けるタグ, 入国審査に必要な書類一式を手渡す。帰りのチケットは E チケット 1 枚のため引率教員が預かる。
- ・ JTB 担当者より諸注意を受けて各自チェックイン, 出国手続きを行う。12:50 までに各自出国手続きを済ませて搭乗口に集合するよう指示(図 1)。

13:20 仙台空港発(OZ151 便)

定刻より少し遅れて離陸。ほぼ満席。機内で昼食あり。

16:00 韓国 インチョン国際空港着

乗り継ぎの保安検査を通過して、バンコク行きの搭乗口まで移動。その場にてバンコクに到着してからの予定を説明したあと 17:50 まで自由行動。

18:20 インチョン国際空港発(OZ741)

定刻通り出発。ほぼ満席。機内で夕食(Beef か Fish か聞かれる)。

22:05 バンコク スワンナプーム国際空港着

入国審査, 荷物受取を済ませて皆で出口へ移動(図 2)。入国審査に若干手間取る学生あり。出口にて現地 JTB のガイドさんが出迎え。バス乗り場にて今春本校で研修した KMITL 学生数名と本校長期インターンの本校 5 年生 2 名の出迎えに会う。気温 29℃。日中は 35℃前後まで上がったとのこと。

23:00 スワンナプーム国際空港発

JTB バスでホテルへ移動。道中, ガイドさんからバンコク市内の案内を受ける。

23:40 バンコクセンターホテル着

- ・チェックインはガイドさんがまとめて行った。
- ・フロントにてガイドさんからホテルの説明。教員より明日の日程確認の後, 解散。
- ・カバンは各自で部屋に運ぶ。(ホテルのボーイさんにお問い合わせするとチップや時間がかかる問題があるため, 自分たちで行うように事前に連絡。)
- ・ベットメイキングへのチップは一人 20B/日。



図 1



図 2

- ・数部屋でシャワーが出ない／出にくいトラブルが発生。教員がフロントに連絡して対応を試みたが, 深夜であるため結局この日は解決できず, シャワーを使用できなかった。
- ・解散後, さっそく近所のコンビニへ飲料水などの買い物に行く学生がいた。

11 月 11 日(水)

8:50 ロビー集合

- ・各自, 朝食 (バイキング) を済ませて集合。

- ・全員のパスポートを預かり，一括してホテルのセーフティーボックスに預ける。（買い物などで必要な場合もあるので，各自パスポート番号のメモ／コピーを持つ。）
- ・午前中は観光なので服装は自由。（午後の企業見学ではスーツに着替える。）
- ・時差を考慮せずに 2 時間早く起きて行動していた部屋があった。

9:00 ホテル出発

終日 JTB チャーターバス（ガイドさん付き）を利用。バンコクから約 80km にあるアユタヤ県に向けてバスで移動。途中，アユタヤのガソリンスタンドでトイレ休憩。多くの学生がスタンド内の売店に興味を示す。タイのお茶は甘い。

10:30 ころ アユタヤ観光

ワット マハタート

木の根に埋め込まれた仏像の頭(図 3)，頭部と右手を破壊された多くの仏像などビルマ軍の侵攻により破壊された様子が今でも残っている(図 4)。写真撮影に関する諸注意を受ける。

ワット プラ シー サンペット

カンボジアのアンコールワットを参考にしたセイロン様式の建物で，アユタヤで最も重要な王宮建物。隣に大きな黄金の仏像も置かれている(図 5)。バス駐車場から遺跡入り口にかけて多くの露店でひしめく。売り子の勢いに負けてお土産を購入する学生の姿もあった。（麦藁帽子が 1 個 150B，象の置物が 1000B 以上）。気温は 30 度以上。暑さにバテる学生の姿も少々あり。



図 3



図 4



図 5

エレファントキャンプ

象の村。多くの学生が象に乗って散歩をして写真を撮る(図 6)。約 10 分間で 200B。象牙で作った小さなアクセサリを購入する学生もいた。

12:30 ころ 昼食

アユタヤ県内のホテルレストランで昼食。タイ料理のコースメニュー。ドリンクは各自注文(100B 前後)。午後の企業見学に向けて，昼食後，数名が別室で着替える。

14:00 ころ 日本人町跡(図 7)

気温は 35℃前後に達する。館内のエアコンが気持ちいい。ショッピングも楽しむ。



15:00 Nikon Thailand 着

社長をはじめ、4名の日本人駐在員の方から説明・見学案内を受ける。会議室にてスライドによる会社説明が約20分（パパイヤジュースを飲みながら）。2グループに分かれて工場見学約1時間。会議室に戻り質疑応答を約30分（水を飲みながら）。タイ人従業員約9,500人に対して日本人駐在員は約30名であることに驚く。工場で作業をしている9割以上が女性従業員である。質疑応答では、海外勤務ならではの体験談など貴重なお話をいただき、将来の海外勤務に刺激を受けた学生もいた。最後に皆で記念撮影。

(図 8, 9)



図 8



図 9

17:00 Nikon Thailand 発

バスで移動。道中、通勤ラッシュの渋滞に遭うがほぼ順調にバンコクに戻る。

18:30 夕食

シーロム駅近くのレストランでタイスキを食べる。ドリンクは各自注文(100B 前後)。清算で少々手こずるがガイドさんが上手くまとめてくれる。

20:00 ホテル到着

・ロビーで明日の日程確認の後、解散。

- ・シャワーの不具合およびホテル側からの申し出により、合計 4 部屋が別室に移動。
- ・移動後の部屋の確認等のため、JTB のガイドさんに 20:45 までロビーで待機してもらう。

11 月 12 日(木)

8:20 ロビー集合

- ・各自、朝食（バイキング）を済ませて集合。服装は正装。
- ・終日 KMITL バスを利用。バス(タイ研修生 2 名が同乗)は 8:15 頃到着。

8:30 ホテル出発

バスで KMITL に向けて出発。渋滞に遭うこともなく、順調に KMITL に移動。

9:30 頃 KMITL 着

- ・R, E, I 学科毎に分かれてキャンパスツアーに出かける。キャンパスツアーは、今春本校で研修した KMITL の学生および長期インターンの本校 5 年生 2 名が引率(図 10)。
- ・引率教員は事務室にて KMITL 教員と意見交換。前日の卒業式の映像も見せてもらう。

11:30 頃 会議室に集合

- ・学部長より歓迎の挨拶。KMITL の紹介ビデオを約 20 分見る。
- ・仙台および本校の紹介。あらかじめ用意したスライドを用いて 3 名の代表学生が分担して発表。堂々とした発表だった。事前にスライド作成から発表の練習まで懸命に行った成果が表れ、好評だった。
- ・KMITL 学生と 本校学生の自己紹介。タイ語で自己紹介した学生 1 名あり。
- ・贈り物の交換セレモニーのあと、皆で記念撮影(図 11)。



図 10



図 11

12:30 頃 昼食

- ・会議室近くの部屋に移動して昼食。バイキング形式。料理は学外のレストランから取り寄せたタイ料理。
- ・昼食後、学生同士で会話やお土産を渡すなどして交流を楽しむ。

13:30 頃 KMITL 発

バンコク観光に向けて KMITL バスで移動。出発前に KMITL 副学長に挨拶。

14:00 過ぎ バンコク観光

KMITL 学生数名、長期インターンの本校 5 年生 2 名、KMITL 教員 1 名が同行。

タイ王宮，ワット・プラケオ(図 12)

タイ人専用口から入る。KMITL の配慮で入場料は無料。(本来なら外国人は一人 350B)。金色が印象的。ラーマヤーナの壁画，本堂のエメラルド仏陀，銃剣の展覧室を見る。

ワット・ポー

タイ王宮を出て徒歩（15 分程度）で移動。拝観料 50B。金色の寝仏像を見る。タイマッサージの総本山。ワット・ポー内では 30 分ほど時間を取り，各自，自由行動。

ワット・アルン

ワット・ポー出口から 150m のところの渡し船の船着き場へ移動。3B 払って対岸のワット・アルンへ移動。拝観料 50B。ほとんどの学生が大仏塔に登る。急な階段を登ると，足もとにチャオプラヤ川があり，王宮の向こうの高層ビル群が眺められ気分爽快。

再び船着き場へ移動，皆で記念撮影(図 13)。3B 払って対岸へ戻る。夕日がきれい(図 14)。



図 12



図 13

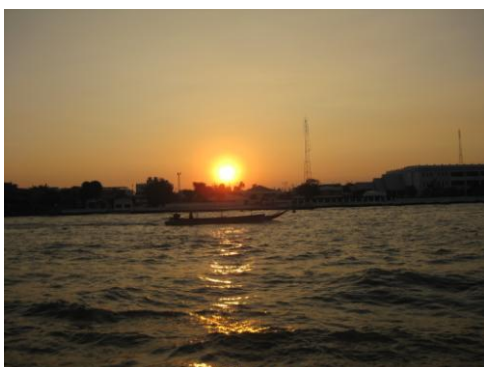


図 14

17:00 過ぎ バンコク観光終了

予定通りバンコク市内 3 か所の寺院観光を済ませ，KMITL バスで一旦ホテルへ移動。

18:00 ホテル着

シャワー，着替えのため約 40 分間の休憩。

18:40 ホテル発

皆で夕食をとるため KMITL バスで夕食会場へ移動。渋滞も重なり移動に 30 分以上費やす。

19:30 頃 夕食

事前に KMITL 教員が夕食会場を設定。夕食はバーベキュー。屋外でエアコンなしのため、一同汗だく。サプライズゲストとして 2 年前に本校で研修した KMITL 卒業生 5 名が来る。仕事の後、当日の突然の連絡にもかかわらず駆け付けてくれて、感激(図 15)。

20:30 過ぎ 夕食終了

150B／人を支払い、皆で記念撮影(図 16)。KMITL バスでホテルへ戻る。移動中、バス内でお互いの校歌、国歌などを歌い大いに盛り上がる。

21:30 過ぎ ホテル到着

ロビーで明日の日程確認の後、解散。バンコク最後の夜をそれぞれ思い思いに過ごす。



図 15



図 16

11 月 13 日(金)

9:00 ロビー集合

朝食、荷物整理と移動を済ませ、ロビーに集合。男子 4 部屋と女子 1 部屋を荷物置き場兼研修後のシャワー&着替え用に Late Checkout にしたため、それ以外の部屋のチェックアウトを済ませた。荷物は Late Checkout の部屋に研修のグループごとにまとめる。

9:30 KMITL 学生集合

グループ研修に同行する KMITL 学生および長期インターンの本校 5 年生 2 名が集まり始める。金曜の朝で渋滞が激しく、皆遅刻。

10:00 頃 グループ研修開始

4 グループに分かれてグループ研修(図 17-20)。引率教員は KMITL 教員と共に過ごす。KMITL 教員の携帯番号を KMITL 学生に知らせておき、緊急事態に備える。シャワー、着替え、荷物整理のために、夕食を済ませて遅くても 20:00 までにホテルに戻るように指示。金曜の晩で渋滞が激しかったが、ほぼ時間どおりに全グループ無事に戻る。一度も教員の携帯電話に緊急連絡はなく、どのグループもショッピングや食事、交流を楽しみ、研修を十分に満喫した様子。



図 17



図 18



図 19



図 20

21:00 ホテルチェックアウト

パスポートをセーフティーボックスから取り出して全員に返す。

21:30 ホテル出発

KMITL 学生数名が同乗して、スワンナプーム国際空港へ移動。往路と同様に JTB バスをガイドさん付きで利用。

22:00 過ぎ バンコク スワンナプーム国際空港着

チェックインは各自が行った。チェックイン開始まで 10 分程度待つ。全員がチェックインを終えるのに 30 分程度費やす。KMITL 学生多数、KMITL 教員 3 名、長期インターンの本校 5 年生 2 名の見送りを受ける。

長期インターンの本校 5 年生 2 名は、KMITL キャンパスツアー、バンコク観光、グループ研修と、後輩の面倒を良く見てくれた。内 1 名は昨年のタイ研修旅行参加者であり、「昨年は自分たちが 1 つ上の先輩のお世話になったので、今年はその恩返しのためです。」とのこと。本校の学生どうしのこのような良い関係が、今後も継続してほしい。

22:50 自由行動

24:40 に搭乗口集合を指示。出国審査および搭乗口までの移動に時間を要するため、遅くても 23:30 までには出国審査口に入るように指示。各自、見送りに来てくれた KMITL 学生、教員らと、ぎりぎりの時間まで別れを惜しむ(図 21)。

25:15 スワンナプーム国際空港発(OZ774 便)

定刻通り離陸。若干空席あり。皆、疲れ切った様子で静かな夜のフライト。6:00 頃朝食をとる（おかゆかフルーツ）。機内で検疫の書類を渡されたが、実際には提出する必要はなかった。

11 月 14 日(土)

8:20 韓国 インチョン国際空港着

乗り継ぎの保安検査を通過して、仙台行きの搭乗口が確認できるところまで移動。9:40 に搭乗口集合を指示して、自由行動。各自空港内を散策する。

10:10 インチョン国際空港発(OZ152 便)

定刻通り出発。若干空席あり。機内で昼食。白米に喜ぶ学生がいた。

12:20 仙台空港着

検疫，入国審査，荷物受取を済ませて各自出口へ移動。預け荷物が出てこない学生が 1 名あり。（インチョンで見つかり，翌週月曜の晩に届く。）保護者数名の出迎えあり。

13:30 頃 解散

記念撮影後，解散(図 22)。



図 21



図 22

付録：アンケートの自由記述回答から抜粋

(※今回の参加者全員がタイ研修旅行を後輩に「勧める」と回答)

【全体的な感想】

- ・本当にタイに行ってよかった。とても良い経験になった。
- ・すごい期待を持ってこの研修旅行に参加したが、帰ってきてそのすごい期待をはるかに超える満足感を得ていた。一言で言うと「最高」だった！
- ・観光も楽しかったが、タイの人と交流できたのが一番良かった。
- ・初めての海外、とても刺激的でした。市街地の様子や伝統的な寺院、遺跡など、おおまかにだがタイの空気を味わうことができた。
- ・アユタヤ等の観光地やバンコクのショッピングセンターなど、タイのいろいろな部分を見ることができて良かった。また行ってもっとタイのことを知りたい。
- ・タイに行ったことは自分の意識を変えるきっかけとなり、自分の大きな財産となった。もっと英語を上達させ、色んな国を旅したい。

【準備・心構え】

- ・少なくとも英語で会話できれば楽しさ倍増。簡単なタイ語を覚えると尚良い。
- ・早い学年からタイなどの外国のことを意識する方がいい。それによって語学の重要性に気づくと思うから。実際、今回タイ人との触れ合いによって英語やコミュニケーション能力の重要性をあらためて実感させられた。
- ・事前の KMITL 研修生との交流会に積極的に参加するべき。
- ・タイ語のさわり程度は勉強した方がいい。タイ人とタイ語で言葉をかわすのはとても楽しくて、観光地をまわるより楽しかったかもしれない。自分は 30～40 文ぐらいしか覚えていなかったが、とても旅が楽しくなった。タイ語で話しかけて笑顔で返してもらったり KMITL の先生にほめられたりしたのはすごく良い思い出になった。
- ・基本は英語なので、コミュニケーションできる程度の英語力は必要。今春から勉強してコミュニケーションをとれるよう意識して参加したが、ほぼ理解できて良かった。
- ・暑さと味（特に香草）はある程度覚悟が必要。

【企業・大学訪問】

- ・外国の工場（日本企業）を見ることができてとても良かった。
- ・KMITL のキャンパスの大きさにびっくりした。

【その他】

- ・長期インターンでタイに行っている 5 年生とも交流でき、今後の参考になった。
- ・タイ人との交流はもちろんだが、他の学科の人とも交流できたのが良かった。